

教育普及事業 スクールプログラム

学校児童・生徒が写真・映像メディアとの出会いを通して、豊かな体験学習ができるように、小学校・中学校・高等学校、大学および各種学校の授業とリンクした「スクールプログラム」を実施している。利用を希望する学校を対象に、展覧会鑑賞プログラム、暗室での写真プリントや教材キットを活用した実技的な体験プログラムを行った。大学の博物館学等で来館した学

校団体には、当館の展覧会業務や美術館活動についての概要説明、バックヤード見学等を実施した。

実施回数：54回

実施件数：47件（教員研修や教育を目的とする民間講座等をふくむ）

参加者数：1,279人



スクールプログラム実施風景写真

平成20年度 スクールプログラム実績

年月日	曜日	時間	学校等団体名	学年	授業区分	人数	プログラム内容
1	4月16日	水 10:00-12:00	東京工芸大学	大学生	授業等	20	展覧会鑑賞 (ジャコモメリ展)
2	4月16日	水 10:00-11:00	岩手県宮古市立河南中学校	3年生	修学旅行	4	職場体験・展覧会鑑賞
3	4月24日	木 10:00-12:00	立教大学	大学生	授業等	20	展覧会鑑賞 (ジャコモメリ展)
4	4月26日	土 10:00-12:00	武蔵大学	大学生	授業等	30	学芸員の仕事、美術館活動について
5	5月15日	木 11:00-11:45	東京都立城南特別支援学校	1～3年生	課外活動	16	暗室体験 (フォトグラム)
6	5月20日	火 11:00-11:45	東京都立城南特別支援学校	1～3年生	課外活動	16	暗室体験 (フォトグラム)
7	5月21日	水 10:00-12:00	三重県桑名市立隆成中学校	3年生	修学旅行	6	職場体験・展覧会鑑賞
8	5月23日	金 13:30-15:30	日本大学芸術学部	大学生	授業等	40	学芸員の仕事、美術館活動について
9	5月27日	火 13:30-15:30	日本大学芸術学部	大学生	授業等	40	学芸員の仕事、美術館活動について
10	5月31日	土 14:00-16:00	東京藝術大学	大学生	授業等	24	展覧会鑑賞 (森山大道展)
11	6月4日	水 15:00-16:30	慶應義塾中等部	1～3年生	写真部	23	カメラの仕組みを学ぼう
12	6月5日	木 10:30-12:30	上智大学	大学生	授業等	20	展覧会鑑賞 (森山大道展)
13	6月10日	火 13:45-16:00	駒込高校	3年生	選択美術	7	暗室体験 (BWプリント、フォトグラム)
14	6月21日	土 11:00-14:00	朝日ジャーナリスト学校	一般	講座	53	展覧会鑑賞 (世界報道写真展)
15	6月28日	土 11:00-14:00	朝日ジャーナリスト学校	一般	講座	49	展覧会鑑賞 (世界報道写真展)
16	6月28日	土 15:00-17:00	武蔵野女子学院	高校生	写真部	6	生徒写真作品の講評
17	7月2日	水 12:30-15:00	千葉大学教育学部附属中学校	2～3年生	総合学習	30	展覧会鑑賞 (世界報道写真展)
18	7月2日	水 14:20-15:30	東京都立国際高校	高校生	授業等	15	展覧会鑑賞 (世界報道写真展)
19	7月4日	金 10:00-12:00	杉並区立東田中学校	中学生	発達障害学級	12	コマ撮りアニメーション
20	7月15日	火 10:00-14:00	港区立御田小学校	4年生	図工	39	暗室体験 (フォトグラム)
21	7月17日	木 8:50-15:20	江戸川区立第三松江小学校	4年生	図工	105	コマ撮りアニメーション撮影、出前授業
22	7月24日	木 10:00-15:00	東京都立成瀬高校	高校生	美術部	10	暗室体験 (BWプリント、フォトグラム) 展覧会鑑賞
23	7月25日	金 10:00-15:00	武蔵野市立第六中学校	中学生	選択美術、美術部	14	暗室体験 (BWプリント、フォトグラム)
24	7月31日	木 10:00-15:00	世田谷区喜多見中学校	中学生	美術部	23	驚き盤、暗室体験 (フォトグラム)
25	8月8日	金 14:00-15:45	学校教員ガイダンスツアー (動くフォーラム)	図工美術教員	財団事務局主催	25	スクールプログラムの紹介とデモンストレーション
26	8月22日	金 10:00-11:30	渋谷区教育委員会画図工作部	図工教員	教員研修	14	スクールプログラムの紹介とデモンストレーション、展覧会鑑賞
27	8月26日	火 10:00-12:00	藤沢市小学教員研修図工部	図工教員	村岡小学校	40	展覧会鑑賞 (液晶絵画展)
28	9月14日	日 10:00-13:00	成城学園高校	高校生	授業等	16	フォトグラム、展覧会鑑賞
29	9月18日	木 13:30-15:30	早稲田大学教育学部	博物館実習	授業等	18	学芸員の仕事、美術館活動について
30	9月20日	土 13:00-15:00	創価中学校	中学生	美術部	7	展覧会鑑賞
31	9月23日	火 10:00-15:30	川村中学・高等学校	中学生	美術部	12	カメラの仕組みを学ぼう、暗室体験 (BWプリント)
32	9月25日	木 10:00-12:00	東久留米中学校	2年生	課外活動	6	フォトグラム、展覧会鑑賞 (液晶絵画展)
33	10月1日	水 13:00-15:30	千葉大学教育学部附属中学校	中学生	総合学習	29	暗室体験 (BWプリント)
34	10月11日	土 10:00-12:00	京都造形大学	大学生	授業等	20	展覧会鑑賞 (液晶絵画展)
35	10月17日	金 14:00-15:00	埼玉芸術総合高校	高校生	授業等	10	展覧会鑑賞 (アメリカ展)
36	11月3日	木 14:00-15:00	東京藝術大学	大学生	授業等	10	展覧会鑑賞 (新進作家展、アメリカ展)
37	11月6日	木 13:30-15:00	渋谷区立代々木小学校	6年生	図工	10	カメラの仕組みを学ぼう、暗室体験 (フォトグラム)
38	11月8日	土 10:00-12:00	日本大学通信教育部	大学生	博物館学	15	美術館活動について、ガイドツアー
39	11月20日	木 10:30-12:30	NHK文化センター柏教室	一般	講座	16	展覧会鑑賞 (新進作家展、アメリカ展)
40	11月24日	月 10:00-15:00	トキワ松学園	中・高	写真部	13	暗室体験 (BWプリント)
41	11月26日	水 14:00-17:00	駿河台大学医学文化情報学部	3～4年生	授業等	15	美術館活動について、ガイドツアー
42	12月3日	水 15:00-17:00	武蔵村山市立図工教員研修会	図工教員	研修	10	カメラの仕組みを学ぼう、暗室体験 (フォトグラム)
43	12月6日	土 14:00-15:30	実践女子大学	大学生	授業等	9	展覧会鑑賞 (アメリカ展)、ガイドツアー
44	12月7日	日 14:00-15:30	実践女子大学	大学生	授業等	12	展覧会鑑賞 (アメリカ展)、ガイドツアー
45	1月14日	水 14:00-16:00	恵泉女学院高校	3年生	美術	4	展覧会鑑賞 (イマジネーション展)
46	1月21日	水 10:00-15:00	星槎国際高等学校	高校生	通信課程	16	展覧会鑑賞 (イマジネーション展)、驚き盤、コマ撮りアニメーション
47	1月30日	金 10:40-12:10	港区立神応小学校	4年生	図工	21	コマ撮りアニメーション 出前授業
48	2月4日	水 9:00-10:00 10:45-12:00	渋谷区立加計塚小学校	3年生	図工	65	驚き盤
49	2月10日	火 9:00-10:00 10:45-12:00	渋谷区立加計塚小学校	5年生	図工	56	フォトグラム
50	2月12日	木 10:00-11:50	港区立高輪台小学校	6年生	図工	58	驚き盤、展覧会鑑賞 (イマジネーション展)
51	2月13日	金 10:00-12:00	港区立神応小学校	4年生	図工	20	コマ撮りアニメーション
52	2月13日	金 14:00-15:00	城西国際大学	大学生	授業等	30	展覧会鑑賞 (イマジネーション展)
53	3月5日	木 9:00-10:00 10:45-12:00	渋谷区立加計塚小学校	4年生	図工	60	コマ撮りアニメーション
54	3月14日	土 10:00-15:00	東京都立上野高校	高校生	写真部、美術部	20	暗室体験 (BWプリント)、コマ撮りアニメーション

教育普及事業

ワークショップ・講演会等・ギャラリートーク等

ワークショップ

事前申込／抽選の形式によって一般あるいは友の会会員から募集した参加者を対象に、当館暗室を活用した写真プリント実技を中心とした実技のプログラムを実施した。

テーマ	講師	開催日	参加人数	参加費
BWプリント・ワークショップ	当館スタッフ	平成20年6月21日(土)	19人	一般 3,000円
		平成20年6月22日(日)	14人	学生 2,000円
第1回写実フォトドキュメンタリー・ワークショップ	Q. サカマキ (世界報道写真展2007受賞者) 外山俊樹(『AERA』フォトエディター)	平成20年7月11日(金)～13日(日)	21人	20,000円
クィック・ヒット・エッセイの一般公開レビュー	Q. サカマキ (世界報道写真展2007受賞者) 外山俊樹(『AERA』フォトエディター)	平成20年7月13日(日)	52人	世界報道写真展半券提示
夏休みワークショップ 「手作りカメラオブスクラで写真を作ろう」	当館スタッフ	平成20年7月26日(土)	14人	1,000円
		平成20年7月27日(日)	28人	
オープンワークショップ 驚き盤をつくろう!	当館スタッフ	平成20年8月23日(土)	86人	無料
		平成20年8月24日(日)	105人	
BWプリント・ワークショップ	当館スタッフ	平成20年9月27日(土)	14人	一般 3,000円
		平成20年9月28日(日)	11人	学生 2,000円
フォトグラムでグリーティングカードをつくろう!	当館スタッフ	平成20年12月13日(土)	11人	1,000円
オープンワークショップ 驚き盤をつくろう!	当館スタッフ	平成21年1月12日(月・祝)	46人	無料
		平成21年1月18日(日)	62人	
オープンワークショップ 各種プログラムの体験	当館スタッフ	平成21年3月15日(日)	22人	無料
古典技法・鶏卵紙プリントワークショップ	当館スタッフ	平成21年3月28日(土)	27人	一般 2,000円
		平成21年3月29日(日)	23人	小学生以下 1,000円

共催ワークショップ

写真関連団体、企業等と連携して様々なワークショップを実施した。

テーマ	講師等	開催日	参加人数	参加費
親子とはじめての方のための 「モノクロ写真体験教室」	主催：社団法人日本写真協会、 東京都写真美術館 富士フイルムイメージング株式会社 協力：日本プリンター協会 NPO法人ザ・ダークルーム・インターナショナル	平成20年7月19日(土)	59人	1,000円
		平成20年7月20日(日)	62人	
世界報道写真展関連ワークショップ 写真好き集まれ!!! 一日報道カメラマン	主催：朝日新聞社文化事業部 東京都写真美術館	平成20年7月21日(月・祝)	10人	1,000円
日本プリンター協会+東京都写真美術館 「写真暗室・夏期スクール」	主催：日本プリンター協会 東京都写真美術館 講師：日本プリンター協会会員	平成20年8月2日(土)、3日(日)	17人	一般 20,000円 学生 17,000円
渋谷区連続区民講座：写真を通して社会が見える	主催：渋谷区教育委員会 共催：東京都写真美術館 講師：土田ヒロミ(写真家) 当館学芸員	平成20年10月25日(土) 11月1日(土)、8日(土)、15日(土)	108人	4回通し 400円
ゼラチンシルバーセッション+東京都写真美術館 「BWプリント・ジョイントワークショップ」	平間 至(写真家)	平成20年11月29日(土)	14人	一般 4,500円
	ハービー・山口(写真家)	平成20年11月30日(日)	19人	学生 3,000円
ゼラチンシルバーセッション+東京都写真美術館 「BWプリント・ジョイントワークショップ」	M. HASUI(写真家)	平成21年2月7日(土)	23人	一般 4,500円
	瀬尾浩司(写真家)	平成21年2月8日(日)	20人	学生 3,000円



BWプリント・ワークショップ実施風景

講演会等

写真美術館で開催した展覧会と連動して、展覧会出品作家、展覧会関係者による講演会、アーティスト・トーク等のプログラムを実施した。

展覧会	テーマ	開催日	講師・出演等	参加人数
シュルレアリスムと写真 痙攣する美	関連シンポジウム「シュルレアリスムの宇宙」			
	◆「シュルレアリスム美術をどう語るか」	平成20年4月20日(日)	鈴木雅雄(早稲田大学教授) 林 道郎(上智大学教授)	210人
	◆「シュルレアリスムと複製文化」		塚原 史(早稲田大学教授) 千葉文夫(早稲田大学教授)	
	連続記念講演会「写真とシュルレアリスム」			
	◆「マン・レイとオブジェの発見」	平成20年4月26日(土)	巖谷國士(明治学院大学教授)	112人
	◆「ナジャ、バリ、痙攣的な美」			120人
	◆「1930年代のシュルレアリスム」	平成20年4月27日(日)		140人
◆「旅、超現実、日々への魔術」	140人			
関連ライブコンサート ツルノリヒコ「シュルレアリストの夢」	平成20年4月30日(水)	ツルノリヒコ(ヴァイオリニスト)	70人	
知られざる鬼才 マリオ・ジャコモ展	特別レクチャー	平成20年4月26日(土)	多木浩二(美術・写真評論家)	105人
森山大道 レトロスペクティヴ1965-2005/ハワイ	連続対論	平成20年5月23日(金)	講師:森山大道×大竹伸朗(美術家) 進行:笠原美智子(当館学芸員)	230人
		平成20年5月24日(土)	講師:森山大道×多木浩二(美術・写真評論家) 進行:清水稜(同志社大学教授)	220人
		平成20年5月30日(金)	講師:森山大道×金平茂紀(TBSテレビ報道局長) 進行:岡部友子(当館学芸員)	170人
ヴィジョンズ オブ アメリカ第1~3部	「ステイグリッツと アメリカン・モダニズムの幕開け」	平成20年7月6日(日)	甲斐義明(NY市立大学博士課程 <美術史学科>在籍)	26人
	「アメリカ的なものを求めて 1930年代のアメリカン・ドキュメンツの眼差し」	平成20年9月12日(金)	日高優(群馬県立女子大学専任講師)	30人
	「アメリカのポピュラー音楽 —ジャズ・エッジからロックンロールまで」	平成20年10月12日(日)	ピーター・バラカン(ブロードキャスター)	74人
	「60年代から70年代へ ソーシャル・ランドスケープとニュー・ドキュメンツ」	平成20年11月3日(月)	戸田昌子(武蔵野美術大学非常勤講師) 中川裕美(東京総合写真専門学校非常勤講師)	18人
世界報道写真展2008	トークセッション	平成20年7月22日(火)	高木忠智 (世界報道写真2008一般ニュースの部写真3位入賞) 会田法行(早稲田大学講師/写真家) 千葉康由(写真家)	64人
今森光彦写真展 昆虫4億年の旅	「子どもたちに残したい美しい自然」	平成20年7月21日(月・祝)	今森光彦×工藤直子(詩人、絵本作家)	132人
	「昆虫少年大いに語る」	平成20年8月9日(土)	今森光彦×奥本大三郎(日本昆虫協会会長、フランス文学者)	208人
液晶絵画 STILL/MOTION	「映像詩・里山」上映会とアーティスト・トーク 「映像詩・里山が生まれるまで」	平成20年7月22日(火)	今森光彦×村田真一(NHKチーフ・プロデューサー) 協力:NHKエンタープライズ	266人
	カフェトーク	平成20年8月23日(土)	ドミニク・レイマン(出品作家)	16人
日本の新進作家展vol.7 オン・ユア・ボディ	記念講演会	平成20年9月20日(土)	建畠哲(国立国際美術館館長) 畠中実(ICC主任学芸員)	45人
		平成20年11月27日(木)	小勝禮子(栃木県立美術館学芸課長)	27人
		平成20年11月28日(金)	鈴木杜枝子(明治学院大学文学部芸術学科教授)	72人
ランドスケープ 柴田敏雄展	記念講演会	平成20年12月5日(金)	北原恵(大阪大学大学院文学研究科准教授)	26人
		平成20年12月23日(火・祝)	柴田敏雄×飯沢耕太郎(写真評論家)	80人
甦る中山岩太:モダニズムの光と影	記念講演会	平成21年2月1日(日)	柴田敏雄×光田由里(渋谷区立松濤美術館学芸員)	118人
第1回恵比寿映像祭	記念講演会「中山岩太のニュープリントを制作して」	平成21年1月25日(日)	比田井一良(ラポテック)×金子隆一(当館専門調査員)	50人
		平成21年2月20日(金)	ジャネット・カーディフ(出品作家)	26人
		平成21年2月21日(土)	チャン・ヨンヘ重工業(出品作家)	15人
		平成21年2月22日(日)	古郷卓司(出品作家)	15人
		平成21年2月28日(土)	ジェス・マクニール(出品作家)	12人
	オープニングライブ d.v.d.	平成21年3月1日(日)	ショーン・スナイダー(出品作家)	13人
	映像対論:創造と共有の新しい形を探って	平成21年2月20日(金)	d.v.d.	200人
	拡張映画とソニック・パフォーマンス	平成21年2月22日(日)	松本俊夫×宇川直宏	102人
	インストルメンタライズ エクストラ09 視覚/音/映像	平成21年2月24日(火)	フィルク・デュイン+J・スターン、A・グワラ、C・テスター	66人
	パフォーマンスと映像メディア	平成21年2月27日(金)	OPTRUM(伊東篤宏、進揚一郎)、 Hair Stylistics(中原昌也)、梅田哲也	121人
やなぎみわ マイ・グランドマザーズ	対談	平成21年2月28日(土)	飯名尚人、マックス・シューマッハ、榎橋洋子	86人
		平成21年3月7日(土)	やなぎみわ×石内都(写真家)	93人

ギャラリートーク

展覧会会期中には、出品作家や担当学芸員による展示解説を行った。

展覧会	開催日	講師等	参加人数
シュルレアリスムと写真 痙攣する美	平成20年4月11日・25日(金)	神保京子(担当学芸員)	80人
知られざる鬼才 マリオ・ジャコモメリ展	平成20年4月26日(土)	芦野公昭(ナディッフ代表)	95人
	平成20年5月2日(金)		110人
	平成20年5月6日(火)		125人
森山大道展 レトロスペクティヴ1965-2005／ハワイ	平成20年5月23日・6月13日・27日(金)	岡部友子(担当学芸員)	123人
ヴィジョンズ オブ アメリカ第1～3部	平成20年7月11日・25日・8月8日・22日(金)	金子隆一(担当学芸員)	97人
	平成20年9月12日・26日・10月10日(金)	鈴木佳子(担当学芸員)	135人
	平成20年11月14日・28日(金)	石田哲朗(担当学芸員)	38人
今森光彦写真展 昆虫4億年の旅	平成20年7月11日・25日・8月8日(金)	関次和子(担当学芸員)	97人
液晶絵画 STILL/MOTION	平成20年9月12日(金)	小島千雪(出品作家) 鷹野隆大(出品作家)	70人
	平成20年9月26日(金)	やなぎみわ(出品作家)	60人
	平成20年10月10日(金)	藤村里美(担当学芸員)	60人
日本の新進作家展vol.7 オン・ユア・ボディ	平成20年10月24日(金)	澤田知子(出品作家) 塩崎由美子(出品作家) 横溝静(出品作家)	40人
	平成20年11月14日(金)	高橋ジュンコ(出品作家)	34人
	平成20年11月28日(金)	朝海陽子(出品作家) 志賀理江子(出品作家)	85人
甦る中山岩太:モダニズムの光と影	平成20年12月26日(金) 平成21年1月2日・3日・9日・23日(金)	金子隆一(担当学芸員)	173人
ランドスケープ 柴田敏雄展	平成20年12月19日(金)	藤村里美(担当学芸員)	120人
	平成21年1月16日・30日・2月6日(金)	柴田敏雄(出品作家)	130人
	平成21年1月2日(金) 平成21年1月3日(土)		52人
映像をめぐる冒険 vol. 1 イマジネーション 視覚と知覚を超える旅	平成20年12月26日(金)	牧野貴(出品作家)	32人
	平成21年1月9日(金)	狩野志歩(出品作家)	38人
	平成21年1月16日(金)	宇川直宏(出品作家)	39人
	平成21年1月30日(金)	渡辺水季(出品作家)	30人
	平成21年1月23日・2月6日(金)	岡村恵子(担当学芸員)	70人
第1回恵比寿映像祭	平成21年3月1日(日)	木村太陽(出品作家)	65人
夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 II.中部・近畿・中国地方編	平成21年3月13日・27日(金)	三井圭司(担当学芸員)	45人
やなぎみわ マイ・グランドマザーズ	平成21年3月13日・27日(金)	丹羽晴美(担当学芸員)	64人

教育普及事業

あ・ら・かるチャー 渋谷・恵比寿・原宿（文化施設連携事業）

1 趣旨

渋谷を中心としたJR3駅、渋谷、恵比寿、原宿を結ぶエリアには美術館、博物館、コンサートホール、テーマパーク、図書館など数多くの文化施設があり、それぞれの特徴を活かしながら多様な文化事業が展開されている。

本事業の趣旨は、これらの文化施設が連携することにより、従来にも増して、渋谷・恵比寿・原宿が魅力ある文化ゾーンとしての認知度を高め、文化芸術に触れる場や機会の提供の拡充を図ろうとするものである。これにより人々の生活の中に文化が浸透し、地域社会に活力を与えることを目的とする。

2 連携施設

このエリアに存在する他の文化施設に連携を呼びかけ、山種美術館、JICA地球ひろばが新たに加わり以下の21施設が参加した。

①NHKスタジオパーク ②C.C.レモンホール ③たばこと塩の博物館 ④トーキョーワンダーサイト渋谷 ⑤電力館 ⑥Bunkamura ⑦観世能楽堂 ⑧戸栗美術館 ⑨ギャラリーTOM ⑩渋谷区立松濤美術館 ⑪太田記念美術館 ⑫こどもの城 ⑬UNギャラリー ⑭セルリアンタワー能楽堂 ⑮白根記念渋谷区郷土博物館・文学館 ⑯渋谷区ふれあい植物センター ⑰恵比寿麦酒記念館 ⑱東京都写真美術館 ⑲東京都立中央図書館 ⑳山種美術館 ㉑JICA地球ひろば

3 活動実績

(1)「あ・ら・かるチャー 渋谷・恵比寿・原宿」運営協議会の開催

参加館の担当者が集まり、連携事業についての協議や情報交換を行った。（実施回数：5回）

(2) 広報宣伝

(ア)「かるチャー散歩地図」

参加施設の場所、基本情報等を掲載した広報用チラシ「かるチャー散歩地図」を改訂。カフェ、グッズ情報、おす

めコース、マップ情報の充実、無料で楽しめる体験など新たな情報やサービスを盛り込んだ。10万部作成し、参加館及び渋谷区関連施設で配布した。

(イ)「あ・ら・かるチャー」ホームページ

参加館のホームページ上にバナーを設置、参加館の紹介をするとともに新着情報など最新情報の提供に努めた。また、各施設のホームページにリンクを貼り相互PRを行った。

(3) 連携事業・イベント

第31回ふるさと渋谷フェスティバルに参加

各施設の案内チラシの配布をはじめ、「あ・ら・かるチャークイズ」や福引き抽選会、施設の来場実績のアンケート調査、ボランティアによるオープンワークショップ「驚き盤を作ろう！」を実施した。



「あ・ら・かるチャー渋谷・恵比寿・原宿」かるチャー散歩地図

第31回ふるさと渋谷フェスティバル

開催日：平成20年11月2日（日）・3日（月）

場所：代々木公園（渋谷区）

「あ・ら・かるチャー」のブースを出して渋谷・恵比寿・原宿地区の文化活動をアピール。二日間で延べ約3,000人の参加を得た。



クイズに答えて空くじなしの福引き抽選会へ参加



「あ・ら・かるチャー」テント風景



親子で楽しめる驚き盤ワークショップ

教育普及事業

友の会／ボランティア／博物館実習

友の会

写真美術館友の会は、写真と映像の鑑賞を通して写真美術館に対する理解と親愛感を深め、美術館の運営を支援することを目的として、平成13年7月に設置された。

平成20年度は、友の会ワークショップの他、今後の友の会の運営について質の向上と会員数増を計るため、全会員（発送時の会員数約1,400人）にアンケートをとった。その内600人余りから回答があり、中でも要望の多かった「友の会会員向け特別内覧会」を12月に開催した。内覧会では作家や学芸員によるフロアレクチャーを行い、参加会員に大変好評を博した。

1 会員数 1,353人（平成21年3月末）

2 会員種別

- (1) 個人会員 2,000円
- (2) 家族会員 3,000円
- (3) シルバー会員 1,000円

3 会員特典（平成20年度の会員特典は以下の通り）

- (1) 収蔵展・映像展が無料
- (2) 誘致展・自主企画展が割引
- (3) ミュージアム・ショップでの買い物は5%引き（一部商品は除く）
- (4) カフェでのブレンドコーヒー、ダーズリン紅茶を200円引き
- (5) 1階ホール（実験劇場）の割引
- (6) 「写真美術館ニュースeyes（アイズ）」送付

東京都写真美術館ボランティア

当館ボランティア活動は前年度多岐に渡る館内事業に活動の幅を広げたが、それに対応できる十分な研修を行うことができなかった反省をふまえ、平成20年度は本来の活動範囲であるワークショップ、スクールプログラムといった教育普及事業のサポート活動に重点をおいた。実施回数は少ないがボランティア企画によるワークショップの実施の実績もあり、活動の質的な充実がみられる。新規登録者は年々増加の傾向にあり、情報やノウハウの共有、研修内容の充実、参加モチベーションの維持といった点が今後の課題である。

1 登録者数：74名

平成19年度からの更新登録者 49名
新規登録者 25名

2 ボランティア活動実績

活用事業実施回数 61回 1ヶ月平均 約5回

のべ参加者 377人

（ただしボランティア研修会をのぞく。年間一人あたり5回）

- (1) ワークショップ・スタッフ活動 24回
- (2) スクールプログラム・スタッフ活動 27回
- (3) 展覧会オープニング、展覧会関連講演会スタッフ等 10回
- (4) ボランティア研修会 13回

●ボランティア研修会（暗室実技自主研修ほか）

平成20年4月20日（日）、5月17日（土）、6月14日（土）、8月16日（土）、9月14日（日）、10月18日（土）、11月21日（金）、11月22日（土）、12月20日（土）、平成21年1月17日（土）、2月14日（土）

●新規ボランティア研修会・ボランティア交流会

平成20年5月24日（土）

●ボランティア総会 平成21年3月21日（土）

博物館実習

写真美術館における美術館活動と学芸員および各部署の業務を総括的に把握し、実地で研修することによって、学芸員養成のための実習とした。平成20年度は日程をA日程、B日程に分け、9月上旬の週末二週にわたって施設案内のガイドツアーを一般来館者に行う活動を行った。共通の講義として概論、作品収集・保存管理業務、展覧会業務、教育普及業務などを行い、14日間にわたって実施した。

1. 受け入れ日程：平成20年8月18日（月）～9月13日（土）のうち14日間

2. 受け入れ人数：12名

3. 受け入れ大学：岡山県立大学、共立女子大学、首都大学東京、女子美術大学、東京工芸大学、東京純心大学、東京造形大学、東京大学、東北芸術工科大学、法政大学、一橋大学、武蔵野美術大学

作品資料収集／作品収集実績

●収集の基本方針

写真作品（オリジナル・プリント）を中心に、写真文化を理解する上で必要なものを、幅広く収集する。

[写真作品]

- 1 国際的な視野に立って、国内外の芸術性、文化性の高い作品を幅広く収集する。
- 2 写真の発生から現代まで、写真史の上で重要な国内外の作家・作品を幅広く、体系的に収集する。
- 3 歴史的に評価の定まった作品を重視するとともに、各種の展覧会等で高い評価を受けた作家・作品の発掘に努め、現代から未来を展望した収集を行う。
- 4 東京を表現、記録した国内外の写真作品を収集する。
- 5 日本の代表的作家については重点的に収集し、その作家の創作活動の全体像を表現し得る点数を収集する。

[写真資料]

- 1 出版物（写真集、専門書、雑誌等）については、写真文化に関するものを歴史的、系統的に収集する。
- 2 ネガフィルム等の類については、作家・作品研究などに必要と考えられるものを収集する。
- 3 ポスターなど、写真展の付属資料（図録、チケット等）を収集する。
- 4 その他、作家や作品の関連資料、周辺資料を適宜収集する。

[写真機材類]

- 1 写真の原理と発掘の歴史、ソフトとハードの接点を理解させる展示に必要なものを収集する。
- 2 体験学習などの事業活動に必要となるものを収集する。

[映像資料]

- 1 映像文化史を展示するのに必要な映像資料を系統的に収集する。
- 2 体験型の展示を行うため、映像装置などのレプリカや模型を計画的に製作する。
- 3 日本およびアジアの映像文化史についての調査研究を進め、重要な映像資料を収集する。
- 4 各映像ジャンルの代表的な映像資料および芸術価値の高い作品を収集する。

●写真作品収集の新指針(平成18年11月13日策定)

- 1 写真作品収集の基本方針に則り、写真美術館コレクションをより充実させる。
- 2 黎明期の写真のように、希少価値的な作品を積極的に収集する。
- 3 写真史において重要な役割を果たした歴史的作家の作品を体系的に収集する。
- 4 1980年代以降に評価の定まった作家作品を充実させる。
- 5 新進展で取り上げた作家や国内外の主要な賞を受賞した作家、国内外の主要美術館における主要展覧会において取り上げられた作家など、若手作家の作品を収集する。
- 6 写真美術館の展覧会（自主展、収蔵展）で取り上げた作家作品を収集する。
- 7 基本方針 [写真作品] 5に基づく新規重点作家の設定
 - (1) 日本を代表する作家であること
 - (2) 国内外で評価が高いこと
 - (3) 日本の写真の一分野を代表する作家であること
 - (4) 国内外の主要美術館で作品が収集され個展が開催されていること
 - (5) 現在のおおよそ40代、50代、60代の作家を目安にする
 - (6) 収集にあたっては、現在の収集予算および市場の高騰を鑑み、購入及び寄贈により約200点の収蔵を目指す
 - (7) 重点作家については、国内外の写真・美術の動向を鑑み随時見直しをする
- 8 新指針7に基づく新規重点作家（21人）
荒木経惟 石内都 オノデラユキ 北井一夫 北島敬三 小山穂太郎 佐藤時啓 篠山紀信 柴田敏雄 杉本博司 鈴木清 須田一政 高梨豊 田村彰英 畠山直哉 深瀬昌久 古屋誠一 宮本隆司 森村泰昌 やなぎみわ 山崎博

平成20年度収集点数：881点

【内訳】 国内写真作品 838点 海外写真作品 31点
映像作品資料 12点

東京都写真美術館コレクション点数：24,839点

【内訳】 国内写真作品 16,708点 海外写真作品 5,097点
映像作品資料 2,238点 写真資料 796点

●作品収集実績

東京都購入案件

作家名	作品名	技法・サイズ	点数	制作年	備考
中山岩太	「上海からきた女」他	ゼラチン・シルバー・プリント 全紙	20	1929～48	H20「甦る中山岩太」展 出品作品
稲越功一	「Maybe, Maybe」他	ゼラチン・シルバー・プリント 11×14 inch	20	1971～87	H21「稲越功一」展 出品予定作品
大東元	「新東京風景」他	ゼラチン・シルバー・プリント 16×20 inch	20	1934～60	H21「プレス・カメラマン・ ストーリー」出品予定作品
影山光洋	「芋ッコヨッチャン」他	ゼラチン・シルバー・プリント 16×20 inch	38	1950s～60s	H21「プレス・カメラマン・ ストーリー」出品予定作品
深瀬昌久	「洋子」「鴉」「歩く眼」「家族」「私景」 「Bukubuku」より	ゼラチン・シルバー・プリント 16×20 inch	50	1960～90	新重点収集作家
柴田敏雄	シリーズ「in color」他	発色現像方式印画 32×40 inch ゼラチン・シルバー・プリント	10	2007	H20「柴田敏雄」展 出品作品 ed. 1/10
屋代敏博	シリーズ「回転回Live!」より	発色現像方式印画 49×77.5 cm	8	2005～08	H19「新進展 Still/Alive」 出品作品 ed. 1/10
森村泰昌	「独裁者はどこにいる1」 「ASANUMA I」	ゼラチン・シルバー・プリント 150×120 cm 120×150cm	2	2006～07	H21「森村泰昌」展 出品予定作品 ed. 1/7
やなぎみわ	シリーズ「My Grandmothers」より	発色現像方式印画 120×160 cm	4	2000～01	H20「やなぎみわ」展 出品作品ed.6/7 6/7 7/7 4/7
横溝静	シリーズ「all (Cc)」より	発色現像方式印画 31.5×39.3 cm	2	2008	H20「新進展オン・ユア・ボディ」展 出品作品 ed. 1/5
澤田知子	「TIARA」「MASQUERADE」	発色現像方式印画 42×72 cm 150×300 cm	2	2007、2006	H20「新進展オン・ユア・ボディ」展 出品作品 ed. 1/3 1/30
石田尚志	「海の壁ー生成する庭」 「海の映画」	インスタレーション/ シングルチャンネル、HDビデオ	2	2007	H21「アニメーション」展 出品予定作品 ed. 2/5
伊藤隆介	「Film Studies(オデッサの階段)」「Songs(版#23)」 「Songs(版#23)」	インスタレーション/ 16ミリフィルム/フィルム原板	3	2002～08	H21「アニメーション」展 出品予定作品
牧野貴	「Intimate Stars」「No is E」 「Elements of Nothing」他	16ミリフィルム・Dβ cam/ Dβ cam/Dβ cam他	4	2004～08	H20「イマジネーション」展 出品作品

東京都写真美術館購入案件

作家名	作品名	技法・サイズ	点数	制作年	備考
小島柳蛙	「小島柳蛙とその家族、コラージュ写真」他	アンプロタイプ	10	1863～80	寄託作品を購入と寄贈に 切り替え
細江英公	シリーズ「ガウディ」より	ゼラチン・シルバー・プリント 57.7×45.5 38.5×57.6 47.7×57.5	3	1978～79	重点収集作家
奈良原一高	シリーズ「ポケットTokyo」より	発色現像方式印画	96	1993～96	重点収集作家
柳沢信	「二つの町の対話」他	ゼラチン・シルバー・プリント 20.3×25.4 cm	20	1966～68	H21「旅」展出品予定作品
田中美代治	「磐梯山噴火」他	アルビューメン・プリントに手彩色 24.1×19 cm	4	1888	H21「ジョルジュ・ピゴー」展 出品予定作品
ウィリアム・K・ バルトン	富士山の遠景 「磐梯山噴火」他	アルビューメン・プリント 25.5×20.5 cm 20.5×26.5 cm	6	1888	H21「ジョルジュ・ピゴー」展 出品予定作品

*東京都写真美術館購入案件については、委員会で購入決定後、東京都歴史文化財団から東京都に寄贈

寄贈

作家名	作品名	技法・サイズ	点数	制作年
細江英公	「Casa Mila 23」	ゼラチン・シルバー・プリント 26.6×40.1 cm each	1	1984
柴田敏雄	「長野県南佐久郡佐久穂町」 「川崎大師インター」 「牧の原SA」	発色現像方式印画 81.2×101 cm ゼラチン・シルバー・プリント 50.8×60.9 cm	3	2007 1982 1986
森山大道	「ハワイ」	ゼラチン・シルバー・プリント 99.5×149.5 cm	2	2007~08
東松照明	「街頭テレビ」他	インク・ジェット・プリント 11×14 inch	215	1954~98
奈良原一高	「Vertical Horizon - Tokyo」より	インク・ジェット・プリント 29×29 cm	14	1991~95
菊地東陽	「東郷平八郎像」他	プラチナ・プリント 10×12 inch ゼラチン・シルバー・プリント	66	1904~19
中川政昭	「猫とストロブ」他	ゼラチン・シルバー・プリント 8×10 inch	115	1973~92
土田ヒロミ	「続・俗神」より 「新・砂を数える」より 「Aging」より	インク・ジェット・プリント	51	1983~2006
屋代敏博	シリーズ「回転回Live」より	発色現像方式印画 49×77.5 cm	8	2007
森村泰昌	「溶ける写真 アルベルト」 「溶ける写真 チェ」	DVD (額付き) 30×39 cm	2	2007
石田尚志	「フーガの技法」	16ミリフィルム	1	2001
伊藤隆介	「ゴダールによる映画」	シングルチャンネル・ビデオ	1	2002
牧野貴	「EVE」	16ミリフィルム	1	2002
候元超	「太和殿内景之一」	プラチナ・プリント 30×42.5 cm	1	2005
馮學敏	「ようこそミャオ村へ」 「雲南省 紅河川 紅河県地方」	銀色素漂白方式印画 30×42.5 cm	2	2007
デニス・ファーバー	「光を放つ子供」 「パーティ」	拡散転写方式印画 55.9×68.6 cm	2	1991 1988
朝海陽子	シリーズ「Sight」より	発色現像方式印画 59.7×47.8 cm	5	2006~07
塩嶋由美子	シリーズ「Una」より	発色現像方式印画 48×58 cm	15	2001~08
志賀理江子	シリーズ「カナリア」より13点 シリーズ「リリー」より11点	発色現像方式印画 59×38.6 cm	24	2005~08
高橋ジュンコ	「Tokyo Mid I II III」3点 「Untitled」5点	DVD 3点 発色現像方式印画 5点 59×38.7 cm	8	2005~08
制作者不詳	ティンタイプの肖像写真	ティンタイプ 8.8×6.1 cm	15	c.1860
ウィリアム・ヘンリー・ジャクソン	Toltec Gorge	アルビューメン・プリント 16.1×10.6 cm	5	c.1860

●プリントスタディールーム

東京都写真美術館では、写真作品・資料の収集、展覧会等での展示・鑑賞をおこなっており、研究・鑑賞のために直接作品等を閲覧する特別閲覧（プリントスタディールーム）制度を設けている。（実績は66ページ）

平成20年度収蔵作品の紹介

東京都購入案件



中山岩太 〈上海から来た女〉1936年頃、
ゼラチン・シルバー・プリント



稲越功一 〈「Maybe Maybe」より〉1971年、
ゼラチン・シルバー・プリント



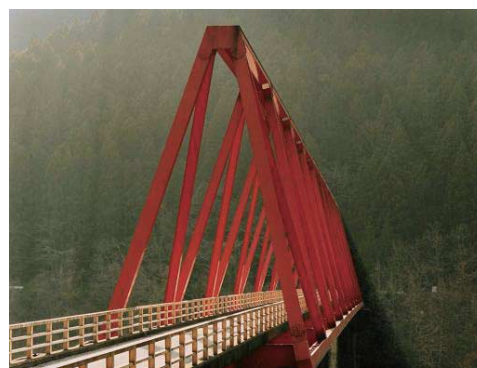
大束元 〈題不詳(女子プロレス)〉1960年代頃、
ゼラチン・シルバー・プリント



影山光洋 〈小麦の収穫祝い、家族の肖像〉より 1946年2月13日、
ゼラチン・シルバー・プリント



深瀬昌久 〈襟裳岬「鴉」より〉1976年、
ゼラチン・シルバー・プリント



柴田敏雄 〈高知県土佐郡大川村〉2007年、発色現像方式印画



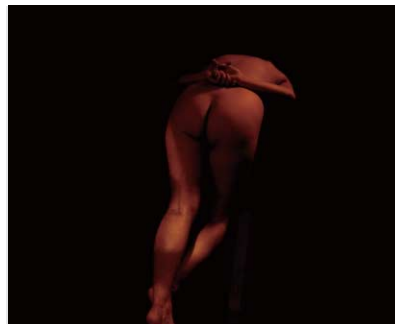
屋代敏博 〈回転回LIVE！相武台高校 卒業式会場〉2007年、
発色現像方式印画



森村泰昌 〈なにものかへのレクイエム（独裁者はどこにいる1）〉
2007年、ゼラチンシルバープリント



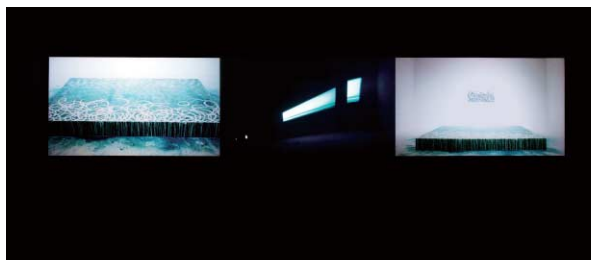
やなぎみわ 〈マイ・グランドマザーズ〉シリーズ、《MIWA》
2001年、発色現像方式印画



横溝静 〈all (Cc)〉2008年、発色現像方式印画



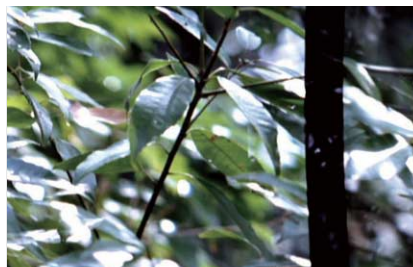
澤田知子 〈TIARA〉2008年、発色現像方式印画



石田尚志 〈海の壁ー生成する庭〉2007年、
トリプルチャンネル・ビデオインスタレーション



伊藤隆介 〈Film Studies (オデッサの階段)〉2006年、
ミクストメディア・インスタレーション



牧野貴 〈The Seasons〉2008年、ビデオテープ (Dβ cam)

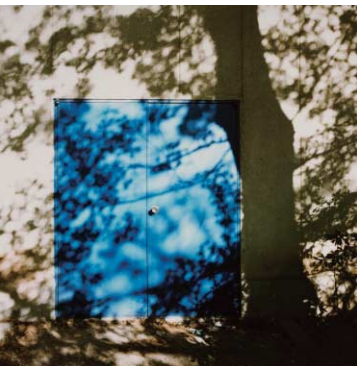
東京都写真美術館購入案件



小島柳蛙 〈小島柳蛙とその家族、コラージュ写真〉1873年、アンプロタイプ



細江英公 〈Casa Batlló 1〉1978年、ゼラチン・シルバー・プリント



奈良原一高 〈神宮外苑〉シリーズ「ポケット東京」より1993年、発色現像方式印画



ウィリアム・K・バルトン 〈磐梯山・小磐梯遠景〉1888年、鶏卵紙



柳沢信 〈シリーズ「新日本紀行6 鉱山の町」より〉1968年、ゼラチン・シルバー・プリント



田中美代治 〈磐梯山・見祢漬家〉1888年、鶏卵紙に手彩色

寄贈



細江英公 <Casa Mila 23> 1984年、ゼラチン・シルバー・プリント



柴田敏雄 <長野県南佐久郡佐久穂町> 2007年、発色現像方式印画



森山大道 <ハワイ> 2007-08年、ゼラチン・シルバー・プリント



東松照明 <反戦(1) 東京> 1968年、インクジェット・プリント



奈良原一高 <SETAGAYA> シリーズ「VERTICAL HORIZON-TOKYO」 1991~95年、インクジェット・プリント



菊地東陽 <題不詳(子供像)> 1909~1919年、プラチナ・プリント



中川政昭 <グラス1> 1990年、ゼラチン・シルバー・プリント



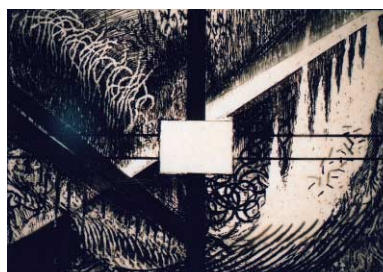
土田ヒロミ <三国>「新・砂を数える」より 2000年、インクジェット・プリント



屋代敏博 <回転回LIVE! TOSA美術アカデミー1> 2007年、発色現像方式印画



森村泰昌 <溶ける写真: チェ> 2007年、DVD/額



石田尚志 <フーガの技法> 2001年、16ミリフィルム/ビデオテープ (Dβ cam)



伊藤隆介 <ゴダールによる映画> 2002年、ビデオテープ (DV)



牧野貴 <EVE> 2002年、
16ミリフィルム



候元超 <太和殿内景之一>
2005年、
プラチナ・プリント



馮學敏 <ようこそミャオ村へ> 2007年、
発色現像方式印画



デニス・ファーバー <パーティ>
1988年、
拡散転写方式印画



朝海陽子 <ホームアローン、東京>
2007年、発色現像方式印画



塩崎由美子 <Una 2004> 2007年、
発色現像方式印画



志賀理江子 <リリーが子供だった頃> 2005年、
発色現像方式印画



高橋ジュンコ <Tokyo Mid II> 2006~08年、
ビデオ・インスタレーション、
6分50秒



制作者不詳 <<腰掛ける女性像>>
1860年代、
ティンタイプ



ウィリアム・ヘンリー・ジャクソン
<マザーグランディ、クリアクリーク溪谷>
1860-1870年代、鶏卵紙